

**おおぞら 授業実践**




**1 主題名・教材名** 友情っていいな B 友情、信頼

「ともだちだもんな、ぼくら」 ※表記を一部改変

(出典：くすのきしげのり作 「ともだちやもんな、ぼくら」 えほんの杜)

**2 本時のねらい** ぼくの迷いや、その後どんな行動をとったかを考える学習を通して、友達を思い、助け合おうとする心情や判断力を育てる。

**3 展開**

段階	○学習活動と主な発問	・予想される児童の反応	・指導上の留意点 ○評価	時
導入	○友達についてのアンケート結果を提示する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんな友達がいてよかったと思っている。</li> <li>友達ともっと仲よくなりたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前のアンケート結果を提示し、本時のねらいの方向付けをする。</li> </ul>	2
展開	○条件・状況を知る		<ul style="list-style-type: none"> <li>3人は仲よしであること、カミナリじいさんをととも恐れていることを伝える。</li> </ul>	2
	 <p>○教師の読み聞かせを聞く (空き地に到着する場面まで)。</p> <p>○話の内容とぼくの気持ちの動きを整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カミナリじいさんに見つかる。</li> <li>ヒデトシを置いて逃げる。</li> <li>空き地にたどり着く。</li> </ul> <p>(補)ヒデトシのことをわざとにおいていったのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>びっくりした。</li> <li>怖い。</li> <li>怒られたくない。</li> <li>捕まったらどうしよう。</li> <li>早く逃げなきゃ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スライドをTV画面に映し、場面の様子を効果的に伝えられるようにする。</li> <li>ぼくの気持ちの上下を矢印で表しながら板書することで、視覚的に気持ちの動きをとらえられるようにする。</li> </ul>	3 5
		<ul style="list-style-type: none"> <li>わざとじゃないけど、怖かったから。</li> <li>逃げることに必死だった。</li> </ul>		
	○葛藤する場面を読み聞かせる。	<p>1 いちもくさんに逃げて空き地に着いたとき、ぼくはどんなことを思ったのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ああ怖かった。</li> <li>逃げ切れてよかった。</li> <li>安心した。</li> <li>ヒデトシ遅いなあ。</li> <li>ヒデトシ大丈夫かな。</li> </ul>	

	<p>② ぼくは、マナブとどんな相談をしたでしょうか。</p> <p>○教師と役割演技をし、ぼくの気持ちをハートメーターで表す。</p>  <p>ひでとしのところに戻ろう。一生心配するよりましだよ。</p> <p>○続きの読み聞かせをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・怒られるのは怖い。</li> <li>・せっかく逃げ切れたから戻りたくない。</li> <li>・ヒデトシがどうなっているか心配。</li> <li>・友達なのに捨てるのいいのかな。</li> <li>・このまま逃げたら後悔しそう。</li> </ul> <p>迷ってるね。怖いものね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割演技の前後でハートメーターを使うことで、変化を比較できるようにする。</li> <li>・心の葛藤を十分に感じさせるため、教師は揺さぶるようなやり取りができるようにする。</li> </ul> 	12
	<p>3 帰り道、ぼくはどんなことを考えたでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勇気を出して助けに行っよかった。</li> <li>・これからも助け合おう。</li> <li>・もっと仲よくなれた。</li> </ul>	<p>○助け合ったことでより友情が深まったことをとらえさせる。</p>	5
	<p>○これから友達とどんな関係になりたいか、考えたことを書く。</p>  <p>元々仲よしだったけれど、もともとなかよしになった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助け合える関係</li> <li>・思い合える関係</li> <li>・協力できる関係</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の実態やねらい合わせたワークシートを用意し、自分と結び付けて考えられるようにする。</li> <li>○今までの自分を振り返り、これから友達とどう関わっていきたいか考えている。(発言・ワークシート)</li> </ul>	8
終末	<p>○「友だちはいいもんだ」の歌を聴く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・TV画面に歌に合わせて歌詞を流し、歌詞の意味を味わって聴けるようにする。</li> </ul>	3

#### 4 授業の成果(○)と課題(●)

- 教材を考えたいことに合わせて3つに区切って提示したことで、考えさせたい内容に焦点化できた。
- ハートメーターを使うことで、主人公の心の葛藤を視覚的に表すことができた。
- 役割演技をさせたことで、より主人公になったつもりで考えさせることができた。担任が何度も投げ返したことで、揺れ動く気持ちを引き出した。
- 板書の情報量がやや多かったので、児童にとって大事なところが分かりにくかった。

#### 5 指導講評(さいたま市教育委員会特別支援教育室主任指導主事 米沢谷 将 先生)

- ・役割演技をやりながらの子供への発問や投げかけが大事だが、本時は先生がよく投げかけられていた。
- ・読み聞かせの方法としては、続けて読むか区切って読むかは児童の実態に合わせて判断する。
- ・板書はシンプルかつ具体的を目指す。ハートメーターか心情グラフどちらかだけの方がよかった。